



議会だより



リニューアルした南幌温泉

第1回 定例会

3月7日～14日

平成30年度各会計予算を可決 新介護保険料決定

3月定例会は3月7日に開会し、平成30年度町政執行方針、教育行政執行方針が演説されました。その後、平成29年度各会計補正予算7議案を審議し、いずれも原案のとおり可決、また平成30年度各会計予算案と関連条例案など10議案を予算審査特別委員会に審査付託しました。(審議内容は20～21ページ)

2日目は7名の議員が一般質問に立ち、執行方針等に対する理事者の考えをたしました。

本会議は14日に再開し、平成30年度各会計予算案、条例制定など22議案を審議し、いずれも原案のとおり可決 採択し閉会しました。

平成29年度補正予算

○一般会計

補正予算(第7号)

主に歳入では、町税、北海道地域づくり総合交付金、町有地売却収入の追加。歳出では、南幌温泉ハート&ハート基金積立金、担い手確保・経営強化支援事業補助金、経営体育成支援事業補助金の追加、並びに事務事業の精査。

○国民健康保険特別会計

補正予算(第2号)

主に歳入では、保険税、国庫支出金、療養給付費交付金、道支出金、共同事業交付金並びに一般会計繰入金などの減額。歳出では、保険給付費、共同事業拠出金、基金積立金の減額。

○病院事業会計

補正予算(第3号)

主に減価償却の修正、一般会計繰入金、並びに事務事業費の精査。

○下水道事業特別会計

補正予算(第2号)

主に歳入では、使用料の精査による減額、繰越金の追加、一般会計繰入金の減

額。歳出では、江別市污水处理に係る経費負担金、消費税額の確定、並びに各事業費の確定による減額。

○農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

主に歳入では、繰越金の追加、一般会計繰入金の減額。歳出では、施設管理に係る委託料の減額。

○介護保険特別会計

補正予算(第3号)

主に歳入では、地域支援事業費の減額に伴う国庫支出金、支払基金交付金、道支出金、並びに一般会計繰入金などの減額。歳出では、地域支援事業費の減額。

○後期高齢者医療特別会計

補正予算(第1号)

主に歳入では、一般会計繰入金の減額、繰越金の追加。歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金の減額。

条例制定等

○南幌町国民健康保険条例(改正)

国民健康保険法等の改正。

○南幌町国民健康保険事業特別会計財政調整基金条例(改正)

国民健康保険法の改正。

○南幌町介護保険条例(改正)

介護保険料の改正。

○南幌町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(改正)

就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正。

○南幌町後期高齢者医療に関する条例(改正)

高齢者の医療の確保に関する法律の改正。

○南幌町介護保険居宅サービス等利用者負担の助成に関する条例(廃止)

助成制度期間の終了。

○南幌町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例(制定)

○南幌町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のため

の効果的な支援の方法等に関する条例(改正)

○南幌町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等に関する条例(改正)

南幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する条例(改正)

○南幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正。

○南幌町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例(改正)

南幌町道営土地改良事業分担金等の徴収に関する条例(改正)

○南幌町国営土地改良事業負担金等の徴収に関する条例(改正)

土地改良法の改正。

○南幌町公営住宅条例(改正)

公営住宅法の改正。

○南幌町都市公園条例(改正)

都市公園法の改正。

人事案件

○副町長の選任

おおさき 大崎 貞二さん(北町)

意見書

第1回議会定例会において次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書

○所有者不明の土地利用を

求める意見書

○障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

○生活保護費の減額に関する意見書

一般質問

問 ふるさと応援寄附金事業の拡充は

答 制度の動向を注視し取り組みます

西股 裕司 議員



西股議員

ふるさと応援寄附事業は、平成29年度の返礼品競争に歯止めをかける総務省からの通達の影響や全国的に飽和状態の感が見られ、南幌町の実績は前年度を下回っている状況です。

ふるさと応援寄附金は、子育て支援をはじめとする、いろいろな事業に活用しており、重要な位置づけにあると捉えています。

今後も寄附金の安定かつ大々的に募っていくためには専門的な部署の設置をす

べきと思いますが、考えを伺います。

町長

本町に寄せられた寄附金は、子育てや高齢者支援などの貴重な財源として活用させていただいている一方、寄附された方に本町の農産物や特産品などをお礼として送付し、販売促進、町のPR効果などが期待される重要な施策です。

毎年度、寄附者のニーズに応えるべく返礼品の見直しを行い、本事業の充実に努めています。

現状では、専門的な部署の設置は考えていませんが、本制度の動向を注視し、各関係機関との一層の連携を図り、広く本町を応援いただけるよう取り組んでいきます。

問 今後の墓地管理について

答 町民ニーズにより検討します

熊木 恵子 議員



熊木議員

全国的に高齢化に伴い墓地の管理ができなくなるなど、墓じまいを考える方が増加しています。

町内には3カ所の墓地と各寺院の敷地内にお墓が設置され、地域に貢献された先人が先祖代々供養されています。

今後の墓地の在り方について2点伺います。

①駐車スペースから墓地に入る通路の整地や、手すりの設置などバリアフリー化の考えは。

②今後に向けて個人で墓地を管理できなくなる恐れ

ある方や単身者・子供のいない世帯に対して、将来に向けた使用形態や管理方法についての相談を受ける体制づくりの考えは。

また、このような方に対して無縁供養塔を使用させる考えは。

町長

①南幌墓地は平成12年の墓地造成工事の際に駐車場から園路にかけて舗装を行っています。

しかし、園路から墓石への通路は舗装していないことから、現場の状況を確認しバリアフリー化が可能な検討します。

②墓地の管理などに関する相談を受ける新たな体制づくりは考えていませんが、住民課で対応していきます。本町の無縁供養塔は身寄りのない方や身元不明の方の遺骨を保管するもので、本来の設置目的が異なることから無縁供養塔を使用さ

せる考えはありません。

しかし、今の時代背景から合葬墓の設置などが取り上げられてきていることから、将来的に町民ニーズの状況によっては検討すべき課題と考えています。

その他の質問

問

子育て支援の拡充について
①中学卒業までの医療費全額助成の考えは。

②インフルエンザ等各种予防接種費用の全額助成の考えは。

③出産祝い金制度の創設の考えは。

町長

現段階においては助成の拡充並びに制度創設の考えはありませんが、平成30年度から子育て世代包括支援センターを設置して5つの新規事業を実施するなど母子保健サービスの拡充と経済的負担の軽減を図ります。

問 町民ニーズをどのように把握するのが（執行方針分）

答 積極的な広聴活動に努めます

菅原 文子 議員



菅原議員

執行方針の中で「地域の特性や資源を十分に生かせるまちづくりを目指し、協働のまちづくりを推進する」とあり、本町の財政状況については「大幅な歳入増加が期待できない一方で、歳出では社会保障関係費や公共施設の改修など投資的経費の増加が見込まれることから、依然として厳しい状況が続くものと考えられます」とあります。

す。町民自身が本町の財政状況を把握する必要があることから、予算概要や執行方針についての説明と町民との意見交換会を開催し、ニーズの把握をすべきと思いますが、考えを伺います。

町長 町民との協働のまちづくりを推進するには、行政が町民に理解され、協力をいただくことが重要であり、このためには情報の共有とコミュニケーションから生まれる信頼関係が大切であり、意見交換会は、具体的なテーマのもとで多くの町民と広く意見交換が必要な場合に開催したいと考えています。

町民との身近なことに關する意見交換は、協働のまちづくりを推進するうえで重要であると認識していますので、今後も積極的な広聴活動に努めます。

問 みどり野きた住まいるヴィレッジを契機とした若い世代の誘致について（執行方針分）

答 強い決意を持って進めます

川幡 宗宏 議員



川幡議員

全国の町村で子育て世代の誘致に成功したところは、きめ細やかな施策を実行し、人口の増加につながっています。

本町は、みどり野きた住まいるヴィレッジ事業による住宅フェアを中心に、子育て世代の誘致に力を入れる方向に踏み出し、希望者の増加が期待されていますが、2点伺います。

①本年度予算の子育て世代建築費助成事業2000万円を上回る希望があった場合の予算対応は。

②本町のいいところや、どのような子育て支援を望んでいるのかアンケート調査を行い、どのような支援を行えば本町を選ぶのか分析し、次年度以降の誘致に活かす考えは。

町長

①みどり野きた住まいるヴィレッジ事業は、南幌暮らしの発信拠点として、さまざまなPRイベントを通じて、子育て世代建築費助成事業と合わせて、移住・定住につなげていきたいと考えており、予算を上回った申込みがあった場合でも希望に添えていきます。

②PRイベントの来場者に対してアンケート調査などを実施し、子育て世代のニーズ把握に努め、南幌町の活性化や若い子育て世代を含めた移住・定住やみどり野団地の販売促進につなげるよう事業を進めていきます。



みどり野きた住まいるヴィレッジ

問 災害時の避難所運営について

答 防災意識の共有を図ります

佐藤 妙子 議員



佐藤議員

近年の災害は私たちが今まで経験したことのない想定外の災害が多く発生し、地震や局地的集中豪雨による被害の拡大や豪雪被害など、異常気象が原因と思われる大規模災害が頻発しています。

本町でも高齢化率が高くなり、要支援者の支援体制の強化と避難所での初動体制の迅速化、適切な知識と判断は大変重要です。そこで3点伺います。

①災害時に指定避難所までの徒歩移動が困難な要支援者が、今後増加する傾向にあるが、各地域の会館を第

2 避難所とする考えは。
②防災士の資格を持つ職員を配置する考えは。
③防災フェスタにおいて、避難所開設などの実践的な訓練の考えは。

町長

①地域の会館については水害時を想定した場合、浸水想定区域に避難所を指定することができない要件があり、ほかの災害時でも備蓄品の整備や人的配置などから、第2避難所としての運営は困難です。

要支援者については、家族や支援者などの協力のもとあいくるの福祉指定避難所へ移動していただく考えです。

②今後、先進事例を調査し、防災士を含めた人材育成を検討します。

③避難所運営の実践的な訓練は実施に向けて方策を検討します。

問 学校給食費無償化など負担軽減に取り組む考えは

答 今以上の負担軽減は現段階で考えていません

志賀浦 学 議員



志賀浦議員

本町では、子育て世帯への住宅建築費助成など多くの施策を講じてきています。

また、新たにきた住まいのヴィレッジ事業等を実施し、移住促進を行っています。

しかし、移住してきた住民を定住につなげるため、教育環境等の充実が求められると思います。

財源確保のため、現在取り組まれている事業の内容の見直し等を行い、公平性の観点からも子供たち全員が対象の事業として2・3年後をめどに、全国的にも徐々に広がりつつある学校給食費の無償化や一部助成

制度の導入で、若年層の教育費負担軽減を図る施策に取り組む考えは。

町長

学校給食費については、平成23年度から主食用の米を、29年度から麺やパンを加えた主食分を全体で約309万円を町が負担しています。

また、平成26年から消費税の改定により、3%の増税分と賄い材料の物価高騰分3%、合わせて6%、約146万円を町が負担していることから、さらなる給食費の助成や無償化については、現段階で考えていません。

子育て支援策については、0歳から小学校6年生までの医療費の全額助成をはじめ、住宅建築費助成、子育て支援米の配布、高等学校等通学費補助など、多岐にわたる施策に取り組ん

でおり、負担軽減を図っています。今後も全体的なバランスを保ち、移住・定住の促進に努めます。



問 コミュニティ・スクールの導入に向けた取り組みは (執行方針分)

答 家庭、地域、学校、行政が総がかりで育みます

内田 恵子 議員



内田議員

学校と保護者や地域の住民がともに知恵を出し合い、一緒に協力しながら子供たちの豊かな成長を支えていく、コミュニティ・スクール（以下、スクール）の研修や講演会が平成28年度2回開催されました。そこで平成30年度実施について3点伺います。

①地域の住民やサポーターから理解と協力をいただくための方策は。
②幼稚園や高校との連携の考えは。
③スクール導入により、子供たちにどのような成長を望むのか。

教育長 ①推進委員会においては、学校運営協議会の取り組みを進めやすくするための部会設置や、具体的な議論を進めるための方向性を示す、スローガン・目標・ビジョンの体系などを協議しました。

スクールの実施については、町広報や学校だよりなどで家庭や地域に情報発信を行なうとともに、保護者や地域の皆さまなどに学校運営協議会委員として協力いただき、学校と地域が一体となった学校運営に理解と協力を求めています。

②本町にとっては初めての制度導入であり、まずは小・中学校でしっかり体制を築くことが先決と考えており、連携は現段階では考えていません。

③子供たちが生まれ育ったふるさと南幌に愛着と誇りを持ち、将来に向かって夢や希望を描くことができるように家庭・地域・学校・行政が総がかりで育んでいきます。

賛 否 の 公 表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の態度を公表します。

平成30年第1回議会定例会

平成30年度各会計予算、平成29年度各会計補正予算、条例案、人事案件など39議案について、議長を除く10名全ての議員が賛成しました。

※議長は採決に加わっていません。

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会を、3月9日、12日、13日に開催し、審議の結果、平成30年度各会計予算案（一般会計・国民健康保険特別会計・病院事業会計・下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）及び関連議案は全会一致で「可決すべきもの」と決定し、本会議で報告しました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

委員 【防災設備等整備事業】

非常用発電機はどのくらい稼働可能なのか。耐用年数、定期点検の時期は。あいくるなどの施設に今後導入する考えは。

総務課 72時間稼働可能。耐用年数は30年。保守点検は毎年行う予定です。

その他の施設は、小型発電機で対応していきます。

委員 【防災対策事業】

防災フェスタについて例年と違う内容を考えているのか。備蓄品の展示予定は。

総務課 子供から高齢者まで防災意識の向上が目的で、何を伝えるのかを考えます。備蓄品は平成28年に展示しており、今年も展示予定です。

委員 【地域新エネルギー推進事業】

新エネルギー設備設置補助金が減っているが、今までペレットストーブはどのくらい普及したのか。今後どのように考えているのか。
まちづくり課 例年1〜2台の実績がありました。

平成29年度はありませんでした。

今後の展開は、民間業者が新しいペレットボイラーの開発に向けて燃焼試験を行っており、普及に向け連携して取り組んでいきます。

委員 【学生地域定着支援推進事業】

今後の取り組みは。

まちづくり課 基本的には教育委員会・商工関係が中心でしたが、新たに南幌工業団地の広報PRとして学生が企業訪問し取材したものを企業ホームページや町ホームページに掲載することを予定しています。

また、広報の特派員として町外から学生に来てもらうことも早期に実施したいと考えています。

委員 【防犯対策推進事業】

中央公園内の防犯カメラ設置場所は、今後、中央公園に増設する予定です。

住民課 国道337号線を正面に見る形で中央公園入り口に設置しました。増設については、必要性を考慮し考えていきます。

民生費

委員 【地域生活支援事業】

手話奉仕員活動事業はどのような場面で行われているのか。

保健福祉課 会議や研修会等に聴覚障がい者が参加を希望する場合に派遣を行います。

委員 【保育所等運営補助事業】

給食についてアレルギー対応はしているのか。

保健福祉課 いちい保育園は管理栄養士がおり、入所当初にアレルギーを把握し、状況に即した食事を提供しています。

衛生費

委員 【母子保健事業】

子育て世代包括支援センターに携わるスタッフは。
保健福祉課 健康子育てグループの保健師のほかに、作業療法士、管理栄養士など専門職が携わり、健康子育てグループ全員がスタッフとなります。

委員 【産前・産後サポート事業】

家事のサポートは対象としているのか。

保健福祉課 産前・産後の不安への対応を予定しており、現在対象としていませんが、ファミリー・サポート事業の中で子育ての支援を行うことで、安心して家事ができる状況になると考えます。



国民健康保険特別会計

委員 【特定健康診査等事業費】

特定健康診査勧奨委託業務について効果は。

住民課 健診受診率は平成27年度35%から平成29年度43%で、8%伸びており、一定の成果は出ていると考えます。

農林水産業費

委員 【都市との交流と販路拡大事業】

都市住民との農業体験交流事業の南幌町体験ツアーと共同実施の内容は。

産業振興課 ピュアホワイトやミニトマトの収穫体験、三重レークハウスのピザづくり体験と試食の後、みどり野きた住まいるヴィレッジの見学を予定しています。

商工費

委員 【観光協会運営助成事業】

ふるさと物産館内観光協会特販所常駐職員配置の内容は。

産業振興課 現在委託2名で軽食・特販所を担当しています。

月曜日から金曜日までは町職員1名、土日祝日は委託職員を1名追加して配置します。

委員 【地域おこし協力隊設置事業】

1名の配置だが、他の自治体との連携の考えは。

産業振興課

観光のPRの部分で外部からの視点も大切だと考えており、今年は1名ですが、来年以降は検討します。連携については、隊員同士の交流も考えています。

土木費

委員 【公園施設管理事業】

中央公園パークゴルフ場テントについて、平成30年度はどうするのか。

都市整備課 現在テントの建てかえ、増設の要望はありませんが、芝が剥がれている状況を冬期前に確認しています。指定管理者ヘントの位置を動かす・暗渠を入れるなど検討するように指導しています。

委員 【遊水地】

平成31年度完成予定だが、現在の進捗状況、周辺道路の状況確認は。

都市整備課 平成31年度完成を目指していますが、進捗状況は平成29年度で6割と聞いています。14号の補修は引き続き札幌開発建設部に要望していきます。

下水道事業特別会計

委員 【長幌第2浄水場改築負担金事業】

住民への理解が必要だと考えるが、今後説明があるのか。

都市整備課 長幌上水道企業団からは住民説明会の開催予定は聞いていませんが、今後企業団と協議して住民の理解を進めるために話をしていきます。

教育費

委員 【公設学習塾事業】

対象が小学4年生から中学3年生までだが、各学年ごとに行うのか。

生涯学習課 それぞれ学年ごとに講師をつけて行います。

委員 【外国語指導助手招致事業】

小学校への英語教員配置の考えは。

生涯学習課 現在時数が少なく、1名体制で1週間に1回行っていますが、今後ふやす予定です。平成32年度以降は検討中です。

委員

【学校運営経費】 救急機器借上料について、運用の状況は。AED（自動体外式除細動器）の教員・管理人の研修状況は。

生涯学習課 財務グループで一括レンタル契約であり、バッテリー点検、操作点検が契約に含まれています。研修については、教員は参加していますが、プール監視員以外の管理人については受けていない状況です。

病院事業会計

委員 【正面玄関】

玄関前が斜めで利用者から危険であるとの声があり、改修の考えは。

町立病院 把握しています。が、ロードヒーティングが入っており、簡単に改修できないと思われます。改修が可能かどうかも含め調査していきます。

総括質疑

○町立病院

今後の方向性と医師確保について

町長 国の方針が未定ですが、議会とも相談しながら今後の方向性を決めていきます。

医師派遣については、江別市との協定で継続しており、現段階でも今後も派遣するという話をいただいています。

○平成31年度以降の財政推計

今後の見直しについて

町長 財政推計の作成により、今後5年間の財政状況の見直しを示しています。が、国の新たな計画を踏まえ、地方交付税等、財政推計を見直していきます。



南幌町議会 議会報告懇談会



町民に身近な議会を目指して

○平成30年2月24日（土）18時～20時 鶴城寿の家
○平成30年2月25日（日）18時～20時 ビューロー

日頃の議会活動やまちづくりへの取り組みなどについて、町民の皆さんとの懇談の機会を設け、今後の議会活動に反映していくことを目的に、議員による議会報告懇談会を開催しました。たくさんのご意見をいただきましたが、誌面の都合上、一部抜粋してお知らせします。

南幌高校

○存続について町から具体的な方向性が出されていない。

○南幌高校生の学力を高め特色のある学科をつくってはどうか。

町立病院

○町立病院の対応はよくなっている。

○診療料が少ないのでふやしてほしい。

○車椅子を使った場合、病院入り口の勾配がきつく危険。

公共交通

○巡回バスは利用者の割に大きすぎるので、もう少し小さいバスにして本数や路線をふやしてほしい。

○デマンドバスを導入してほしい。

ビューロー利活用

○役場ロビーにある特産品をどこで買えるのか分からない。PRや販売・宣伝が必要ではないか。

○農産物販売では、品数が少ない。

○母と子の集まる場所にできないか。

その他

○小学校での父母の送迎時の交通安全対策を。

○南幌ご当地検定を実施してはどうか。

○移住体験する方に農業を体験してもらうてはどうか。



全員協議会

1月29日

○公設学習塾について

○国土利用計画について

○第7期介護保険事業計画について

○第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画について

○地域おこし協力隊について

2月22日

○財産処分について

○防災計画・水防計画の改訂について

○職員定員適正化計画について

○債権管理について

○広域化に伴う国保税について

○介護保険料について

○認定こども園について

○病院の経営状況等について

委員会活動

(1月～3月までの開催分)

総務常任委員会

1月29日

○議会報告懇談会について

産業経済常任委員会

1月19日

○農産物加工センターの運営状況について(視察)

○ビュローの利用状況について

議会運営委員会

2月28日

○定例会の運営について

3月27日

○議会改革検討項目について

まち活性化特別委員会

1月11日

○議会報告懇談会について

1月31日

○議会報告懇談会について

2月19日

○議会報告懇談会について

3月19日

○議会報告懇談会のまとめについて

私のまちひとしごと

議会だより表紙の方を紹介します。

南幌温泉支配人 まえかわ しんさく 前川 晋作さん

平成29年12月に北広島クラッセホテルより南幌温泉支配人に赴任した前川晋作氏をご紹介します。赴任早々、リニューアル工事のため日帰り温泉棟が休館となり、ご利用の皆様にご迷惑をかけておりましたが、4月9日リニューアルオープンし、現在も大盛況となっております。

新しくなった日帰り温泉はバリアフリー化され、高齢者のご利用に優しくなっています。また、疲れを癒やす酸素風呂を新設し大変喜ばれています。

「新しくなった温泉で、30万人を目標！」と前川支配人。食堂にも新しいメニューを加え、皆様のご来館をお待ちしています。

議会広報委員：西股 裕司



広報委員会よりお知らせ

議会だよりは、年4回、町広報の中で掲載されておりましたが、8月1日発行分から町広報と分離し別冊として町広報に折り込みます。

内容も町民の皆様にご覧いただき、分かりやすいものを目指します。

編集後記

平昌オリンピックで銅メダルを獲得したカーリング女子代表LS北見の選手が話した「そだねー」が特許庁に商標登録の申請がされたそうです。商標は商品の特徴づけるマークや名前のことです。「そだねー」がどのような商品に名づけられるか楽しみです。他に北海道弁で商標登録されたのは「なんもん」があるようです。我が町の議会だよりもバージョンアップしたら良いんじゃないかい！「そだねー」

U
K